**おかやまの農林水産業　５年生　活用例　「米づくりのさかんな地域」**

**１．活用のポイント**

米づくり農家の工夫や努力について，教科書の事例地域と岡山県で比べることができる。

○地形や気候の特色　　　　　○米づくりの１年間の仕事

○米づくりの作業の機械化　　○米づくりの工夫　　　　　（P.1～3ページ、5～11ページ）

**２．単元計画**

第１時　庄内平野の地形と気候の特色と、米の生産量のグラフを調べ、学習問題をつかむ。

学習問題　米づくり農家は、どのような工夫や努力をしているのだろう。

第２時　米づくり農家の工夫や努力を予想し学習計画を立てる。

第３時　米づくり農家の１年の仕事はどのようなものかを調べる。

第４時　米づくり農家は、生産性を向上させるためにどのような工夫をしているかを調べる。

第５時　米づくり農家以外のＪＡや農業研究所がどのように協力しているかを調べる。

第６時　生産された米がどのように消費者に届けられるかを調べる。

第７時　米づくり農家のかかえる課題を解決するに、どのような取り組みがされているかを調べる。

第８時　米づくり農家の工夫や努力をまとめ、学習問題を解決する。

**第９時　岡山県の米づくりにかかわる人々は、どのような工夫や努力をしているかを調べる。**

**３．****本時の展開例　第９時**

1. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。

岡山県の米づくり農家は、どのような工夫や努力をしているか調べよう。

1. おかやまの農林水産業で、岡山県での米づくりの工夫や努力について調べる。

・岡山県の気候や地形との関連　　・岡山県の米づくり農家の仕事　　・農家以外の人たちとの協力

・岡山県で作られている米の品種　・岡山県の米づくり農家の工夫

1. 岡山県での米づくりの工夫や努力について話し合う。

・岡山県は温暖な気候と三大河川に恵まれ、米づくりがさかん。干拓で水田も広がっていった。

・１年間を通して仕事をしており、特に土づくりを大切にしている。

・機械化や土づくり、品種改良などはＪＡが協力している。

・岡山県でも生産調整が行われ、黒大豆が作られている。

1. 岡山県と山形県の米づくりの共通点や相違点について話し合う。

・広い土地があり、気候や河川に恵まれている点が同じで、米づくりに適している。

・１年間を通して同じような仕事をしており、工夫をしているところも似ている。

・農家だけでなくＪＡなどの人たちと協力して、よりよい米づくりをしているところも似ている。

・生産調整のための作物として、どちらも大豆が選ばれている。

1. 本時のまとめをする。

農家の人たちは１年間通してたくさんの努力や工夫をしていて、それはどの地域でも似ている。

**４．その他**

「コンバインを使った稲の刈り取り」「米づくりの今と昔」「カントリーエレベーター（ＪＡ岡山）」については動画で確認できる。理解を促すため、関連する時間にその都度使用することも考えられる。